

第十九回一茶ゆかりの里小中学生俳句大会 特選句（応募一七四七句）

かぞくてねおおきいすいかまつかつか高山小一室伏終人
つばめのす赤ちゃんとたちがかおを出す高山小ニ原瑠七
風りんがやらやらやらとおどつてる 南条小ニ富山紗也夏
かたつむりゆつくり歩くなまけもの 豊洲小ニ藤沢陽斗
サイダーが体の中ではじけてる 高山小三市河俊哉
風りんにうつとりしているおじいちゃん 高山小三齋藤大旗
そうめんといつしょに竹をながれたい 高山小三中村心寧
すいかわりガツンと一ぱつ大当たり 豊洲小三植木信吉
タンポポのわた毛が飛んだ空高く 高山小四戸谷瑠璃
風ふいて風りんの音チリリリン 高山小四山寄鴻太
気がつけばやねまでどどくへちまかな鬼無里小四宮下幸之助
まほうだよ長いづらやは冬のつえ 高丘小四宮島愛佳
せん風機おしゃべりすると変な声 真島小四込山蓮
どつちのみんな教えてすいかわり
夏風のすずし根子岳登りきる 森上小五中島悠輔
木もれ日が優しく包む夏の森 高山小五兼平尊乃介
牧場で空見上げれば星が降る 高山小五涌井悠愛
ふうりんの音といつしょに一休み 豊洲小五初山らら
春の土あたらしい命うまれるよ 南条小五毛呂叶実

そよぐ風虫の音聞いて夕涼み
山々の緑がまぶしい立夏かな
夏の海空の鏡になつて
紫陽花がそぼ濡れながら咲き誇る
かき氷キラキラ輝く夏の味
向日葵がまつすぐ育ち遠く見る
しゃぼん玉背より屋根より高く飛べ
すいか割り歓声上がる浜辺かな
大空に手をあげて咲く秋桜
仁和寺の宸殿抜ける風涼し
夏近し光を増した金閣寺
甲子園テレビの前で父正座
衣替え大好きこな服また来年
西瓜食べ受験勉強始めなきや
炎天下燃える騎馬戦全力で
かけ声が遠く聞こえる夏の空
扇風機首振り止めて独り占め
帰り道夕焼け空に手を伸ばす
銀灣や会えると願いて足急ぐ

高山小六齊藤和奏
高山小六石田優姫
高山中一須加尾彩菜
高山中二吳羽大樹
相森中三市川叶恵
相森中三田中遙香
墨坂中三清水来桜
相森中三返町歩乃佳
墨坂中三荒井唯芽
北部中三羽田夏実
北部中三和田陽花
長吉六反申
墨坂中三長尾大輔
小川中三松本裕貴
小川中三山崎麻未
相森中三小林京平
相森中三西澤咲
高山中三涌井宏侑